

## (6) 健康

子どもの生命と心の安定が保たれ、健やかな生活が確立されることは、日々の保育の基本です。

保育園は子どもが集団で生活する場であり、保育園における健康と安全は一人一人の子どもに加えて、集団の子どもの健康と安全から成り立っています。集団であることを念頭においた日々の健康観察や衛生管理を通し、感染症の早期発見・早期対応に努めます。

特に乳幼児期は抵抗力が弱く、様々な病気にかかりやすい時期のため、日々の健康観察や衛生管理に気を配り、子ども達が快適にかつ元気に過ごせるよう援助を行います。

子どもの健康と安全は大人の責務において守らなくてはなりません、子どもが自らの体や健康に関心をもち、心身の機能を高めていくことも大切です。

1	子どもの日々の健康観察を行い、健康状態がいつもと違う状況にある場合はその対応をするとともに、保護者に連絡をし、共有している。	
2	子どもの入園の際に既往歴及び予防接種等を把握しており、必要に応じて予防接種の勧奨を行うなど、子どもの健康増進に努めている。	
3	定期的な（年2回以上）健康診断が行われ、結果を保育士等や保護者と共有し保育に反映させている。	
4	与薬にあたっては医師の指示に従い、依頼書等に基づき行っている。与薬の際は複数の保育士等で確認を行い、安全に与薬をする仕組みを整えている。	
5	保健（日々の衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルがあり、職員全員に周知徹底されている。	
6	定期的な勉強会などを行い、感染症の予防や発生時の対応（処理の手順や方法）の習得に努めている。	
7	感染症発生時には園内掲示等で保護者に伝達し、園内の衛生管理を徹底するなど、保護者の協力や職員の連携などにより感染拡大防止に努めている。	
8	新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を身に付け、職員間で情報を共有するとともに予防策についても理解し、実践している。	
9	新型コロナウイルス感染対策の長期化に伴う子どもへの影響を考慮し、自分で自分を守る方法を身に付ける健康教育を行うことで、不安などに対応できるよう努めている。	
10	乳児期は食事、睡眠、排泄の状況を家庭と保育園の相互で共有し、一日を通した生活リズムを把握して健康に過ごせるよう配慮している。	
11	健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身に付けられるよう、年齢や発達に応じ、子どもが理解できるように工夫し、援助している。	